

# 今ここが聞きたい

12月5日、4議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

8ページ  
**山崎 邦廣** 議員

1. 自然災害に対する今後の考え方について

9ページ  
**辰柳 敬一** 議員

1. 江刈中学校体育館について
2. 畜産バイオマス発電について

10ページ  
**柴田 勇雄** 議員

1. 令和5年度当町の主要事業等について
2. 新庁舎用物品購入に係る調達等について

11ページ  
**近藤 聖** 議員

1. くずまき型DMOの活動内容について
2. 葛巻町文化財行政について



## 3町議会議員協議会研修会 (一戸町・岩手町・葛巻町)

3町の議会議員が一同に会し、相互の研修と情報交換を行うことを目的とした研修会が、2年ぶりに岩手町「プラザあい」で開催されました。開催地の岩手町佐々木光司町長から「これから「まちづくり」と題し、SDGsによる循環型社会形成への取り組みについての講演がありました。今後の取り組みべき内容について大変参考になりました。

講演会終了後は、会場を総合運動公園に移し、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を体験しました。

※SDGsとは：世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を世界みんなで解決していこうとする持続可能な開発目標の取り組み



モルック体験に臨む参加者

# 課題の解決を探る

行政視察研修  
輝くふるさと常任委員会

輝くふるさと常任委員会鈴木満委員長は、10月30日、31日の両日、北海道の上士幌町、池田町、鹿追町の三町を視察し、公営育成牧場や町営ブドウ栽培・ワイン醸造によるまちづくり、バイオガスパラントによるカーボンニュートラルへの取り組みなどを研修しました。

### かみしほろちよう 上士幌町

#### 公営牧場の運営

上士幌町は十勝平野の北端に位置し、人口約4900人、面積約690平方メートル、畑作と畜産を中心とする農業が盛んな町です。

上士幌町では公共育成牧場「ナイタイ高原牧場」を視察しました。

牧場用地は採草地がおよそ480畝、放牧地がおよそ510畝で総面積は1700畝あり、牧場の収容能力は2300頭で、育成牛の預託管理を主な業務とし、地元農協が指定管理者として管理しています。

食を提供する観光施設が整備され、町内の「道の駅」と合わせDMO法人により運営されています。

同町の担当者からはSDGsの取組みについて、資源循環型農業や太陽光・家畜ふん尿バイオガス発電、デジタル化などの「持続可能な社会づくり」の推進状況を伺いました。

### いけだちよう 池田町

#### ブドウ栽培 ワイン醸造

池田町は十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約6200人、面積約37

0平方メートルの「十勝ワイン」で知られている町です。池田町では「ブドウ・ブドウ酒研究所」を視察しました。

同町は1963年に日本初となる自治体経営ワイナリーとして、ヤマブドウからワインを製造するところから事業を始められています。池田町がブドウ栽培とワインの醸造を開始したのは、葛巻町が取組む23年前であり、先進の取組みを推進してきたワイン醸造によるまちづくりを研修できました。

### しかおいちよう 鹿追町

#### バイオガス プラント

鹿追町は十勝平野の北西部に位置し、農業と観光を基幹産業とする町で、人口約5300人、面積約400平方メートルで、酪農

と畑作が主体の農業となっており、視察先の「環境保全センター」は、家畜ふん尿や家庭生ごみなど再生可能エネルギーによるバイオガスプラントを核とした施設で、処理能力は成牛換算一日1870頭分で、町内2基目のプラントでは処理能力は成牛換算一日3000頭分となっています。

また、発電の余剰分は売電されており、町内で循環する先進的な「資源循環型バイオガスプラント」となっています。



鹿追町のバイオガスプラントを視察する町長（左から2人目）と議員

議会では、行政視察や政務調査の費用の一部にあてるため、議員報酬を積み立てて使用しています。